



熱れたの女性六
師呂の師の六

演前にはマリリン・バ奏者平岡愛子さんによる演奏も披露される。
定員200人。事前申

れ、「音楽教育に使ってくだい」と廣瀬介治校長に寄贈状を手渡した。写真。廣瀬校長は「音楽

同財団は1963年に

技「スタディツアー」を開く。参加者を募っている。

28日午前9時半に竹田コミュニケーションセンターに集合。獣道を歩く体験、手動機織り機でコースター作り、炭焼き職人から火の技を学ぶ、竹とん

を受け1人1鉢ずつスカシユリの球根を植えた。鉢は自宅に持ち帰って育てる。来年6月には花を咲かせるという。北ひなたさんは「ユリの種類や

いに咲いて

小児童が鉢植え

介した。

児童は、職員らの指導



植木鉢にユリの球根を入れる児童=18日、坂井市雄島小

る体験プログラムのお披露目も兼ねている。20日締め切り。坂井市のホームページから電子申請で申し込む。イベントの問い合わせは同協議会の高山さん☎090(8999)5311。
(久保和男)



ぶ作業員のこと。1897年の北陸本線金津駅開業を契機に、竹田川を介した金津と三国港との物資運搬を担っていた仲仕が、1901年「金津仲仕組合」を設立。物流拠点である金津駅での運送業務を担った。顕彰碑は現在、同市春宮1丁目の竹田川近くに立つ。
市文化財保護委員の長谷川勲さんが講演する。碑文の大意を中心に、北陸線敷設、金津駅開業に至るまでのルート論争などを解説する。
午後1時半から。定員は30人で無料。問い合わせは市郷土歴史資料館☎0776(73)5158。
(児島崇之)

植え方がわかった。咲くのが楽しみ」と話していた。
(増田智佳子)

北陸の明治鉄道史碑文ひもとき解説
あす、あわらで講座

あわら市の金津本陣IKOSSAで21日、「仲仕組創立記念之碑」が語る明治鉄道史」が開かれる。市文化財保護委員が碑文からひもといた北陸鉄道開通の歴史について講演する。

同市郷土歴史資料館で12月20日まで開催中の企画展「あわら温泉開湯130周年記念 あわら温泉の歴史―温泉に向かう道―」の関連講座。

同財団は1963年に



それ、眼精疲労のせいかもしれないませ

眼精疲労とは、眼の酷使が続くことで眼の疲れに頭痛・肩こりなどの症状をとまなうようになり、休息や睡眠などをとつても十分に回復しにくい状態をいいます。

眼の疲れが肩まで来た、眼の奥までツライ。目薬では眼の疲れがとれにくくなってきた。そんな眼の症状があらわれたら、キューピーコーワ・iプラスをおのみください。

キューピーコーワ・iプラスは、へプロニカートによる血流促進効果で、眼精疲労に効く成分が、眼の奥まで届きやすくなりました。眼の奥の、凝り固まった筋肉や神経を中からふっつとほぐしていきます。

興和株式会社 興和新薬株式会社

